

取扱説明書

背負式電動噴霧器

YS-EFULB12L/YS-EFULB16L/YS-EFULB20L

★ご使用前に必ず充電を行ってください。

★ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みにになり、内容を理解してからご使用ください。



TOP	1
表紙	1
はじめに	3
安全上のご注意	3
製品を長くご愛顧いただくために	4
安全にお使いいただくために	5
主要諸元	6
各部の名称	7
梱包部品一覧	9
組立て	11
組立て	11
噴霧ホースの取付け	12
噴霧管の取付け	13
ノズルの取付け	14
噴霧管ホルダーの取付け	15
ウエストベルトアタッチメントの取付け	16
運転前の準備	17
運転前の準備	17
充電器を初めてご使用する場合	18
バッテリーの充電（詳細）	20
ショルダーベルトの調整	22
ウエストベルトの調整	23
運転操作の仕方	24
運転操作の仕方	24
試運転	25
ノズルの効果	27
噴霧管の伸ばし方	28
レバーのロックの仕方	29
薬剤の調合	30
薬剤の充填	31
噴霧作業	32
噴霧終了	34
点検・整備の仕方	36
点検・整備の仕方	36
漏れの対処	37
詰まりの対処	39
バッテリーの交換	40
お手入れ・長期間使用しない時	42
お手入れ方法	42
保管方法	43
困ったときの対処法	44
保証内容について	46
お客様ご相談窓口	47
修理協力店	49
カスタマー・サポート	50

はじめに

このたびはお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をすると、重大な事故につながるおそれがあります。本製品を使用する前に、この取扱説明書をよく読み、内容を十分に理解してください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です。必ずお守りください。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「**死亡または重傷を負う恐れがある**」内容です。



注意

この表示の欄は、「**軽傷、物的損害、故障が生じる恐れがある**」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



禁止

このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



強制

このような絵表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱いや定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

誤った使い方をすると、重大な事故につながるおそれがあります。本製品を使用する前に、この取扱説明書をよく読み、内容を十分に理解してください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

背負式電動噴霧器に係る安全事項



警告



禁止

- ・農園芸用薬剤の散布を目的としています。指定された用途以外のご使用は、お客様の責任にてご使用ください。
- ・正しい操作を知らない人、子供には操作をさせないでください。
- ・身体の調子が悪いときは、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・作業場は十分に明るくしてください。夜間や悪天候など視界が良くないときは使用しないでください。
- ・この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外のは使用しないでください。
- ・異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本製品を再始動しないでください。
- ・危険を感じたり、予測される場合も、必ず本製品を停止してください。
- ・作業中は、他の人や動物を近づけないでください。
- ・充電中は発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず通風の良い場所で充電してください。
- ・必ず専用充電器で充電してください。自動車等の充電器を使用しないでください。
- ・バッテリー、充電器を分解しないでください。
- ・バッテリーの近くで工具やその他金属を使用する場合、端子の接触、短絡に注意してください。感電や火災の発生の恐れがあります。
- ・濡れた手で電源プラグに触れないでください。
- ・ベンジンやガソリンなど可燃性の液体や溶剤、園芸薬剤以外や、酸性及びアルカリ性の液体、油性薬剤、畜産用薬剤、ケルセン水和剤は絶対に使用しないでください。その他、上記のような成分を含んだ薬液も使用しないでください。



強制

- ・薬剤の使用にあたっては、薬剤の説明書に従ってください。
- ・薬剤タンク蓋は、薬剤が漏れないように、しっかり閉めてください。
- ・突然の噴霧を防ぐため、電源スイッチのON、OFFの切替は、レバーを握らない状態で行ってください。
- ・噴霧作業中は常に風向きを考え、風上から風下に噴霧して薬剤が体に直接付着しないように十分ご注意ください。
- ・日中の気温が高いときの噴霧作業は避けてください。朝、午後での噴霧作業をお勧めします。
- ・薬剤の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋、長袖、長ズボン、ゴム長靴を着用し皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。



注意



禁止

- ・使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- ・周囲温度が10℃未満、あるいは周囲温度が40℃以上ではバッテリーを使用・充電・保管しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・幼児の手の届く範囲では使用しないでください。
- ・子どもに遊ばせないでください。
- ・本製品全体に水をかけたりしないでください。
- ・本体を落下させたり、過度の衝撃を与えないでください。
- ・お手入れは、強酸性、強アルカリ性の薬剤やシンナー、ガソリン、ベンジン等は絶対に使用しないでください。



強制

- ・本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、理解したうえで正しく取扱ってください。
- ・作業に適した服装を心がけてください。
- ・各部の操作に慣れ、すばやく停止する方法を習得してください。
- ・日常点検を行い、本製品を常に良好な状態でご使用ください。
- ・グリップをしっかり握り、正しい姿勢で作業をしてください。
- ・使用前に接続部のパッキンの脱落がないこと、ネジの緩みや欠落した部品などがいないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと、各部に異常がないことを確認してください。
- ・タンクに薬剤を入れるときは、必ず備え付けのタンクストレーナー（こし網）を通してください。
- ・充填時にこぼれた薬剤をその場できれいに拭取ってください。
- ・運転時は必ずタンクに、薬剤または水を入れて行ってください。空運転はポンプを傷めることがあります。
- ・使用後は薬剤タンク内の残液を抜き、清水を入れたポンプを数分間（2～3分）運転し、ポンプ、ホース、ノズル等の内部に残っている薬剤をきれいに流してください。
- ・屋内の直射日光が当たらず、風通しがよく、凍結しない、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・薬剤は必ず調合してからタンクに入れてください。自動車等で運搬される場合は、薬剤が漏れないよう、タンク蓋をしっかり閉めて、傾かない状態に固定してください。
- ・子供の手の届かない安全で、乾燥した場所に保管してください。
- ・部品交換は、純正部品を使用してください。
- ・定期点検整備を行ってください。

主要諸元

モデル名	YS-EFULB12L	YS-EFULB16L	YS-EFULB20L
噴霧量	最大4.0L/min		
噴霧力	0.20~0.68MPa		
タンク容量	12L	16L	20L
最大使用温度	65℃		
バッテリー	鉛蓄電池8A		
使用時間※ 1	最大約10時間		
充電	インプット100V アウトプット12V		
充電時間※ 2	充電時間：7~8時間 (放電状態により変わります)		
バッテリーの寿命目安※ 3	3年		
噴霧ホースの長さ	約1340mm		
噴霧管の長さ	約540~980mm		
重量	5.4kg (タンクが空の状態)	5.65kg (タンクが空の状態)	5.9kg (タンクが空の状態)
本体サイズ (幅×奥行×高さ)	349×185×427mm	378×191×471mm	404×211×486mm

※ 1 バッテリーの状態や噴霧量によって異なります。

※ 2 工場で一度満充電にしているため、出荷のタイミングによっては、はじめから満充電に近い状態の場合があります。
(充電器のLEDランプが「緑」に点灯) その場合は約1~2時間充電してください。

※ 3 使用環境により異なります。

©弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。どうぞご理解・ご了承ください。



各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



- ①薬剤タンク
- ②操作盤蓋
- ③カクハンスイッチ
- ④電源スイッチ
- ⑤噴霧調整ダイヤル
- ⑥充電口
- ⑦ノズル
- ⑧噴霧管
- ⑨薬剤投入口キャップ
- ⑩小物入れキャップ
- ⑪液量確認窓
- ⑫グリップ
- ⑬バッテリー蓋
- ⑭噴霧ホース
- ⑮バッテリーインジケータ



- ⑩噴霧管ホルダー
- ⑪把手
- ⑫ショルダーベルト
- ⑬パッド
- ⑭ウエストベルト
- ⑮ウエストベルトアタッチメント

梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。



警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

<p>A. 本体</p>  <p>※写真は16L</p>	<p>B. 噴霧ホース・グリップ</p> 
<p>C. 充電器</p> 	<p>D. 噴霧管 ※ 2本以上の接続不可</p> 
<p>E. ノズル</p> 	<p>F. 噴霧管ホルダー</p> 
<p>G. ウエストベルト・アタッチメント</p> 	<p>H. タンクストレーナ</p> 
<p>I. パッキン (予備) ★</p> 	<p>J. 計量カップ★</p> 
<p>K. シール★</p> 	

※付属品の一部は、タンク内に同梱されています。
※予告なく仕様変更になる場合があります。
★はサービス品です。予告なく終了することがあります。

組立て

組立て



- ・各接続部には、パッキンが付いていることを確認してください。
- ・接続部より液漏れがないようしっかり締付けてください。

組立て

噴霧ホースの取付け

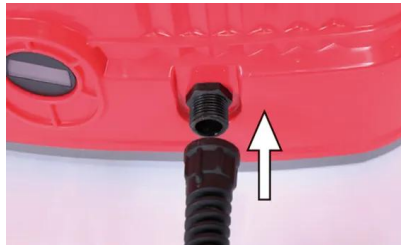
1

本体のホース取付口に噴霧ホースのコネクタを挿込みます。



2

コネクタを時計回りに回して締付けます。



組立て

噴霧管の取付け



※噴霧管を2本以上接続することはできません。

1

噴霧管グリップ側にパッキンがあることを確認します。



2

グリップに噴霧管を取付けます。噴霧管を時計回りにしっかり締めます。



組立て

ノズルの取付け

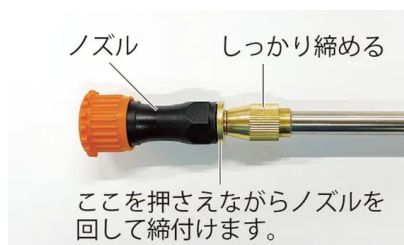
1

噴霧管ノズル側にパッキンがあることを確認します。



2

用途に合わせてノズルを選択し、噴霧管に取付けます。



3

ノズル（調整不可タイプ）先端に緩みがないか確認をしてください。
緩みがあると水漏れします。



4

使用しないノズルは小物入れに収納することができます。（ノズルE-6は分解してください。）



組立て

噴霧管ホルダーの取付け

1

本体上部の突起に噴霧管ホルダーを挿入します。



2

噴霧管ホルダーは、汎用部品のため噴霧管装着部が2ヵ所ありますが、本製品の場合は、小さい方に装着してください。



 注意

噴霧作業中などに噴霧管ホルダーを紛失しないよう、使用しないときは小物入れに入れてください。



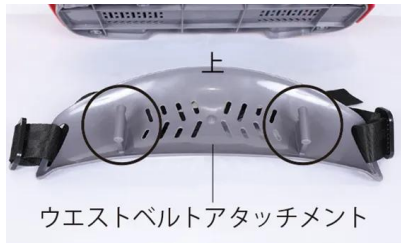
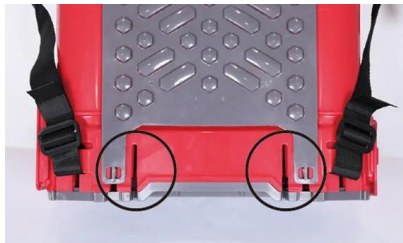
組立て

ウエストベルトアタッチメントの取付け

ウエストベルトをすることで、腰でタンクを支えるため軽く感じられます。
また、横揺れを低減します。

1

本体背面の切込み部分にウエストベルトアタッチメント背面の突起部分を挿入します。



2

上までしっかり挿入します。



運転前の準備

運転前の準備



- 充電中は、子供が近づかないようにしてください。
- 充電中は、発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず、通気の良い場所で充電してください。
- 必ず専用充電器で充電してください。自動車等の充電器を使用しないでください。
- 使用前にバッテリー充電器のコードと出力コネクタを検査してください。もし何か損傷があったらそのまま充電しないでください。
- バッテリー充電器を分解しないでください。
- この充電器は屋外での使用を想定していません。野外での充電を行わないでください。
- 本体の充電口に直接家庭用AC100Vを繋がないでください。
- 充電したまま使用しないでください。



- 運転前に各ネジの緩みや接続部のパッキンの脱落・亀裂、ホースの亀裂、タンクの破損がないことを確認してください。
- 噴霧の用途以外の使用はしないでください。
- 噴霧ホースは、破損の恐れがありますので、無理にねじったり、曲げたり、引張ったりしないでください。
- お買い上げ後最初に使用する際や、3ヵ月以上の長期間使用しなかったときは、必ずバッテリーの充電を行ってから使用してください。

運転前の準備

充電器を初めてご使用する場合

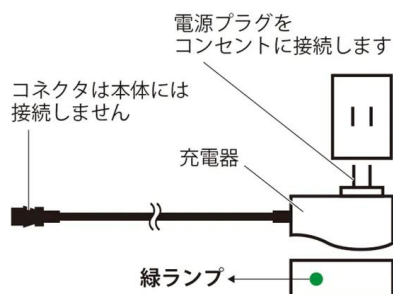
ご使用前に必ず充電を行ってください。



1

充電器を本体に接続する前にコンセントに挿込み、充電器本体のLEDランプが「緑」に点灯するか確認してください。点灯すれば正常です。

点灯しない場合は不良が考えられます。



2

点灯が確認できたら充電器を一旦コンセントから抜きます。

3

カクハンスイッチ、電源スイッチが「OFF (○)」に、噴霧調整ダイヤルが反時計回りに回しきっていることを確認します。



4

充電器の出力コネクタを本体のバッテリー充電口に挿入します。



5

奥まで真っ直ぐに挿込んでください。

6

充電器の電源プラグをコンセントに挿込みます。



●充電器本体のLEDランプが「赤」に点灯した場合

充電が開始され、ほぼ充電が終了すると、LEDランプが「緑」に変わります。そこから更に約1~2時間充電してください。

●充電器本体のLEDランプが「緑」に点灯した場合

満充電に近い状態です。そこから更に約1~2時間充電してください。

※工場ですでに満充電にしているため、出荷のタイミングによっては、はじめから「緑」に点灯する場合があります。



注意

- ・ 充電する際は、必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。
- ・ 14時間以上は充電しないでください。
- ・ 充電したまま使用しないでください。
- ・ 過放電させないでください。充電ができなくなります。
- ・ 噴霧使用後は、必ず充電を行ってください。
- ・ バッテリーは自然放電します。長期間使用しない場合でも、3カ月に一度は充電を行ってください。

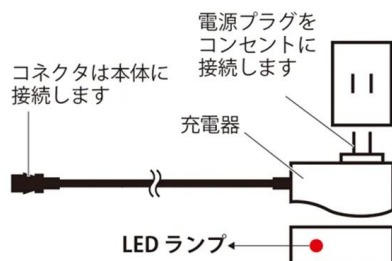
運転前の準備

バッテリーの充電（詳細）

1

充電器の出力コネクタをバッテリーの充電口に挿入し、電源プラグを家庭用AC100Vのコンセントに挿込みます。

注）充電したまま使用不可



2

充電状況は充電器のLEDランプで表します。

「緑」が点灯すれば満充電に近い状態ですが、更に1~2時間充電をします。

※放電状態によって充電時間は変わってきますが、おおよそ7~8時間で満充電になります。



3

完了しましたら、充電器の電源プラグをコンセントから抜き、充電口から出力コネクタを抜きます。

4

電源スイッチを「ON (|)」にします。



5

バッテリーカバーのバッテリーインジケータのLEDランプ「緑」が4つ点灯すれば、バッテリーは正常に満充電されたことになります。



残量の目安	
緑4個点灯	50~100%
緑3個点灯	33~50%
緑2個点灯	15~33%
緑1個点灯	0~15% ※すぐに充電してください
緑無点灯	過放電 ※使用できない場合があります

6

LEDランプが全く点灯しない場合は、バッテリーを一旦取外し、再度取付けてください。

運転前の準備

ショルダーベルトの調整

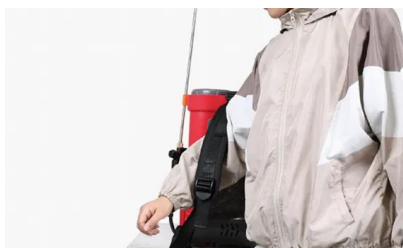
1

安定した台などに本製品を乗せます。



2

本製品を背負います。



3

左右のベルトを下に引張り調整します。重心が上に来るように背負うことで、軽く感じます。

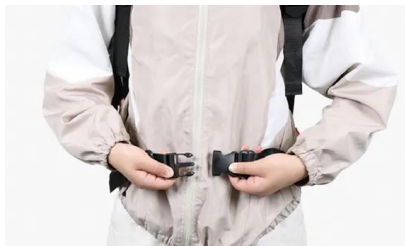


運転前の準備

ウエストベルトの調整

1

ウエストベルトのバックルをはめます。



2

ウエストベルトは写真のように8カンの片側のみに通すことで、引張ることができます。



3

左右のベルトを下に引張り調整します。重心が上に来るように背負うことで、軽く感じます。



4

背中と薬剤タンク背面のパッドに隙間が出るような背負い方をすると、後ろに引張られ、より重く感じます。背中とパッドを密着させる背負い方をすることで、重心が上になり軽く感じます。



運転操作の仕方

運転操作の仕方



- ・ 薬剤は、必ず薬剤の取扱説明書に従ってください。
- ・ 前回使用した薬剤が残っていないか確認してください。薬剤が混ざると、化学変化を起こして有毒ガスが発生する恐れがあります。
- ・ 薬剤タンクに薬剤を入れるときは、必ず備え付けのタンクストレーナー（こし網）を通してください。
- ・ ベンジンやガソリンなど可燃性の液体や溶剤、園芸薬剤以外や、酸性及びアルカリ性の液体、油性薬剤、畜産用薬剤、ケルセン水和剤は絶対に使用しないでください。その他、上記のような成分を含んだ薬液も使用しないでください。



- ・ 薬剤は規定容量以上入れないでください。
- ・ 薬剤の取扱いは十分に注意し、体に付着した場合は、よく洗い流してください。

運転操作の仕方

試運転

1

薬剤タンクに5L程度の真水を入れ、タンクストレーナを取外します。

2

カクハンスイッチを「ON（指を放すとOFFになる）」にし、正常にカクハンしているか確認をします。

タンク内部のインペラに外れや欠けがないか確認をしてください。



3

確認後、カクハンスイッチから指を放します。

4

ノズル・噴霧管を一旦取外した状態でグリップ先端をタンク内に入れ保持します。



5

電源スイッチを「ON（|）」にし、噴霧調整ダイヤルを時計回りに少し回すと「カチッ!」と音がします。更に少し回すとモーター音がします。



6

この状態でグリップのレバーを握るとグリップ先端から水が出れば、正常に作動していることになります。



7

一旦、噴霧調整ダイヤルを反時計回りに「カチッ!」と音がするまで回して停止し、電源スイッチを「OFF (○)」にします。



8

グリップ先端に噴霧管、ノズルを取付け、手順5~6まで行い、噴霧できるか、漏れる箇所はないかを確認します。
問題がなければ試運転は完了です。


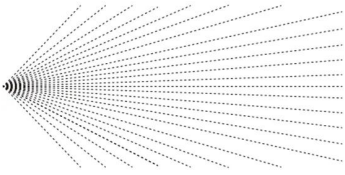

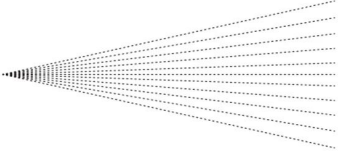

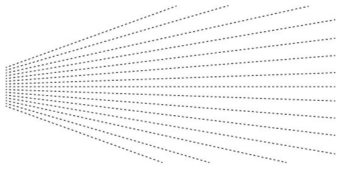

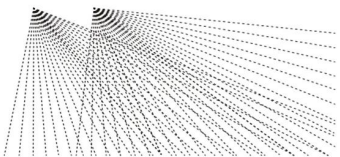

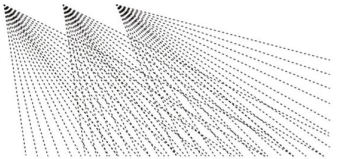

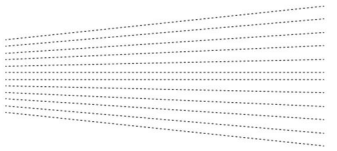
※水が漏れる場合は、その箇所のパッキン等を確認してください。（漏れがある場合は点検・整備の仕方「漏れの対処」を参照）



運転操作の仕方

ノズルの効果

実際に各ノズルを装着し、噴霧の効果を試し、用途にあったノズルをご選択ください。
下記は目安です。

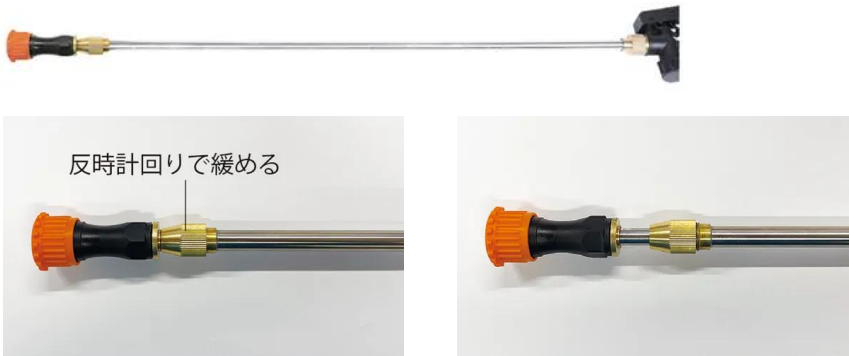
E-1		
E-2		
E-3	 <p>調整が可能</p>	
E-4		
E-5		
E-6	 <p>調整が可能</p>	

運転操作の仕方

噴霧管の伸ばし方

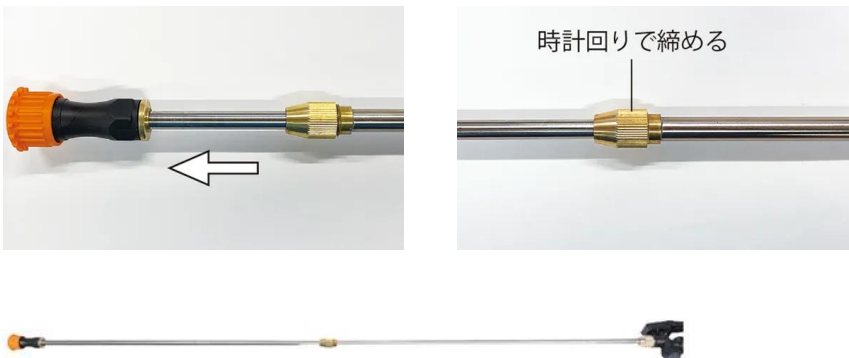
1

噴霧管ノズル側のリングを回して緩めます。



2

噴霧管を引張り、適当な長さになったらリングを回して締付けます。



運転操作の仕方

レバーのロックの仕方

1

レバーを握りながらロックレバーをスライドさせるとロックします。

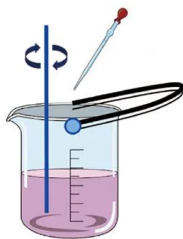


運転操作の仕方

薬剤の調合

1

薬剤は、別の容器で調合します。特に、水和剤はよく溶かしてください。
十分溶けていないと、噴霧器の寿命や性能に悪影響を及ぼします。



強酸と強アルカリ性の溶剤は、使用できません

運転操作の仕方

薬剤の充填

1

電源スイッチが「OFF (○)」になっていること、噴霧調整ダイヤルが反時計回りに回しきっていることを確認します。



2

調合した薬剤を薬剤タンクに入れます。
その際、必ず備え付けのタンクストレーナ（こし網）を通してください。
充填時にこぼれた薬剤は、その場できれいに拭取ってください。



3

薬剤タンクの蓋をしっかり閉めます。

運転操作の仕方

噴霧作業



警告

レバーがロックされたまま電源スイッチを入ると、いきなり薬剤が噴霧されます。
レバーのロックが解除されていること、ノズルの方向、周囲の状況を確認してから電源スイッチを「ON (|)」にしてください。



注意

- ・ 噴霧作業中は常に風向きを考え、風上から風下に噴霧して薬剤が体や対象物以外に直接付着しないように十分ご注意ください。
- ・ 運転時は必ずタンクに、薬剤または水を入れて行ってください。空運転はポンプを傷め、故障の原因になります。
- ・ 日中の気温が高いときの噴霧作業は避けてください。朝、午後での噴霧作業をお勧めします。

1

カクハンスイッチを「ON」にし、5～10秒程度カクハンをします。



注意

カクハンスイッチを長時間押した状態にしたり、カクハンスイッチを押しながら噴霧作業を行わないでください。
バッテリーの消耗が激しくなります。

2

電源スイッチを「ON (|)」にし、バッテリーインジケータのLEDランプの「緑」が4つ点灯していることを確認します。



3

噴霧調整ダイヤルを時計回りに回すと「カチッ！」と鳴り、更に回すと徐々に噴射出力が高くなります。
反時計回りに回すと徐々に噴射出力が低くなり、「カチッ！」と鳴り回しきると停止します。



4

ノズルの方向を定めレバーを握ると、噴霧が始まります。放すと止まります。

噴霧



停止



5

レバーを握りながら、ロックレバーをスライドさせるとロックされ、連続噴霧になります。



モーター音が止まる。

電源スイッチを「ON (|)」にし、噴霧調整ダイヤルを時計回りに回すと薬剤を吸い上げるモーターの音がし、グリップ部分まで薬剤が到達するとモーターが止まりますが故障ではありません。グリップを握ると再びモーターが作動し噴霧できるようになります。薬剤が少なすぎると作動しない場合があります。

6

使用中にバッテリーインジケータのLEDランプの「緑」が1つ点灯になったら使用を中止し、充電をしてください。無点灯になるまで使用しないでください。過放電になり充電ができなくなります。



運転操作の仕方

噴霧終了

1

使用後は、残った薬剤を抜いてタンク内をきれいな水で洗います。タンクを傾けて排出します。



残った薬剤は下水や河川、池、沼等には絶対に捨てないでください。

2

きれいな水をタンクに入れ、2~3分程度噴射して、ホース、ノズルの洗浄を行います。



3

洗浄が完了したら、噴霧調整ダイヤルを反時計回りに回しきります。



4

バッテリーインジケータでバッテリーの残量を確認します。



残量の目安	
緑4個点灯	50~100%

緑3個点灯	33~50%
緑2個点灯	15~33%
緑1個点灯	0~15% ※すぐに充電してください
緑無点灯	過放電 ※使用できない場合があります

5

電源スイッチを「OFF (○)」にします。



6

使用後は速やかに充電を行います。



7

長期間使用しない場合でも、3カ月に一度は必ず充電を行ってください。

点検・整備の仕方

点検・整備の仕方

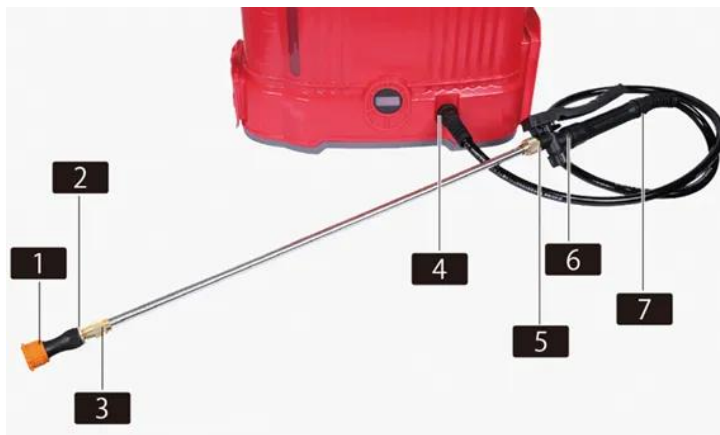


- 点検・整備を行う際は、必ず電源スイッチを「OFF (○)」にしてください。
- 薬剤がタンク、ホース、ノズルなどの内部に残っていない状態で、点検・整備を行ってください。
- 残った薬剤は下水や河川、池、沼等には絶対に捨てないでください。

点検・整備の仕方

漏れの対処

どの位置から漏れるかを確認します。



1

ノズルには2種類のタイプがあります。
噴霧の調整ができるAタイプは柄の部分にパッキンがあり、劣化やゴミの付着により漏れの原因になります。
Bタイプはヘッド内部にパッキンがあり、劣化やゴミの付着、緩み（漏れの多くの原因が緩みです）により漏れの原因になります。

Aタイプ



Bタイプ



2

ノズルと噴霧管の接続部から漏れる場合は、緩み、噴霧管先端のパッキンの劣化やゴミの付着などが原因です。
劣化が見られる場合はパッキンの交換が必要となります。



3

噴霧管の延長部から漏れる場合は、中間のパッキンの破損やゴミの付着などが原因です。
破損している場合は噴霧管の交換が必要となります。



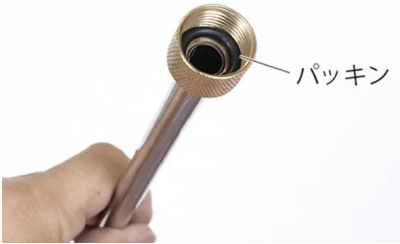
4

本体の接続口から漏れる場合は、噴霧ホースのパッキンの破損やゴミの付着などが原因です。破損している場合はパッキンの交換が必要となります。



5

グリップと噴霧管の接続部から漏れる場合は、噴霧管の緩み、パッキンの劣化やゴミの付着などが原因です。劣化が見られる場合はパッキンの交換が必要となります。



6

グリップから漏れる場合は、パッキンの劣化やゴミの付着などが原因です。劣化が見られる場合はパッキンの交換が必要となります。



7

グリップと噴霧ホースの接続部から漏れる場合は、噴霧ホースのパッキンの破損やゴミの付着などが原因です。破損している場合はパッキンの交換が必要となります。



点検・整備の仕方

詰まりの対処

バッテリーを満充電にしても今までよりノズルから噴霧に勢いが弱い場合は、異物の詰まりが考えられます。以下をご確認ください。

1

ノズルを取外した状態で、噴霧スイッチを「ON (|)」にしレバーを握ると勢いよく水が出る場合は、ノズルの詰まりが考えられます。ノズルを分解しクリップの先端などを穴に挿し、異物を取除きます。



2

ノズルを取外した状態で、噴霧スイッチを「ON (|)」にしレバーを握っても勢いよく水が出ない場合は、グリップ内部のフィルタの汚れや詰まりが考えられます。

グリップを分解し、フィルタの清掃をします。



3

フィルタの汚れも、詰まりもない場合は、噴霧ホースの詰まりや破損が考えられます。グリップを取外した状態で、噴霧スイッチを「ON (|)」にしホースから勢いよく水が出るか確認をします。出ない場合は噴霧ホースを本体から取外し、ホース内部を洗浄します。それでも出ない場合は噴霧ホースの交換となります。



4

ホースの詰まりも破損もない場合は、ポンプの故障、寿命が考えられます。販売店にご相談ください。

点検・整備の仕方

バッテリーの交換

充電をしてもバッテリーインジケータのLEDランプが点灯しない場合や、使用時間が極端に短くなった場合はバッテリーの寿命です。バッテリーの交換を行ってください。



必ず噴霧スイッチは「OFF (○)」にしてください。
また、噴霧調整ダイヤルは反時計回りに回しきってください。

1

バッテリー蓋を上引抜きます。



2

スペーサーを引抜きます。12Lタイプにはありません。



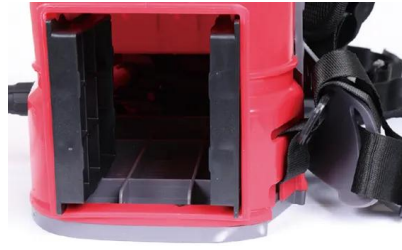
3

バッテリーを引抜きます。



4

新しいバッテリーを用意し、スペーサーを挿入します。(12Lタイプにはスペーサーはありません。)



バッテリーは落下や衝撃を与えないでください。
落下や衝撃を与えたバッテリーは使用しないでください。

5

バッテリーを挿込み、奥までしっかり押し込みます。



6

バッテリー蓋を上から挿込み、下まで押し込みます。



7

噴霧スイッチを「ON (|)」にし、バッテリーインジケータが点灯したら交換完了です。

お手入れ・長期間使用しない時

お手入れ方法

1

使用後は、残った薬剤を抜いてタンク内をきれいな水で洗います。タンクを傾けて排出します。



残った薬剤は下水や河川、池、沼等には絶対に捨てないでください。

2

きれいな水をタンクに入れ、2~3分程度噴射して、ホース、ノズルの洗浄を行います。



3

薬剤タンク内の水を抜き、再度運転をし、ノズルから残液が出なくなったらレバーを放します。

4

噴霧調整ダイヤルを反時計回りに回しきり、噴霧スイッチを「OFF (○)」にしてください。そのまま放置するとバッテリーインジケータが点灯のままになり、バッテリーの消耗を早める恐れがあります。



5

製品の水分、汚れを拭取ってください。

お手入れ・長期間使用しない時

保管方法



- ・タンク内に薬剤を入れたまま、保管しないでください。
- ・冬場に水を入れたまま屋外に放置しないでください。ポンプやホースなど凍結して破損します。

1

バッテリーは自然放電します。
保管前に満充電にし、接続コネクタをはずしてから湿気の少ない場所で保管してください。

2

バッテリーは、少なくとも3カ月に一度は充電を行ってください。
定期的に充電を行わないと、バッテリーの性能が著しく低下し、次のシーズンに使用できなくなる恐れがあります。



バッテリーを充電する際は、必ず接続コネクタを取付けてから行ってください。

3

本機を長期保管するときは、屋内の直射日光が当たらない場所に保管してください。

4

タンク、ポンプ、ホース、グリップ、噴霧管、ノズルから水分を完全に抜いてから保管してください。
冬場に凍結し破損する恐れがあります。

困ったときの対処法

初期

問合せカテゴリ	原因・問合せ	回答
電源が入らない	噴霧スイッチが「ON ()」になっていない	噴霧スイッチをON (マーク) にしてください。
	噴霧調整ダイヤルが「ON」になっていない	噴霧調整ダイヤルを時計回りに回し「カチッ!」と鳴るところまで回してください。
	バッテリーの端子部分の接触不良	バッテリーを一旦取り出し、再度しっかりと確実に奥まで入れ直してください。
スイッチをON にし、噴霧ダイヤルを回してもモーター音がすぐ止まる	グリップのレバーを握らないとモーターは止まる	グリップのレバーを握るとモーター音がし、噴霧されます。レバーを放すとまた止まります。
充電ができない	充電出力コネクタが接続されていない (しっかりと挿込まれていない)	本体を押さえながらしっかりと奥まで挿込んでください。
	バッテリーの端子部分の接触不良	バッテリーを一旦取り出し、再度しっかりと確実に奥まで入れ直してください。
	バッテリーの不良 (電圧低下・消耗)	バッテリーの交換が必要です。
	充電器の不良	充電器を本体に接続せずにコンセントに挿込んだときに、充電器のランプが「赤」点灯または点灯しない場合は充電器の交換が必要です。

初期以降

問合せカテゴリ	原因・問合せ	回答
電源が入らない	バッテリーの端子部分の接触不良	バッテリーを一旦取り出し、再度しっかりと確実に奥まで入れ直してください。
	バッテリーの不良 (電圧低下・消耗)	約8時間以上充電しても充電ランプが赤色で、緑色にならない場合やバッテリーインジケータランプが点灯しない場合は、バッテリーの交換が必要です。 ※バッテリーは定期的 (少なくとも3ヵ月に1回) に充電しないとバッテリーの性能が著しく低下し「充電不可」となります。
	噴霧スイッチの不良	噴霧スイッチの交換が必要です。
	本体内部の断線	メーカー、購入店に問い合わせ
水漏れがする (グリップ以外)	ノズルの緩み、パッキンの破損・異物の付着	確認をし、破損の場合はパッキンの交換
	噴霧管のパッキンの破損・異物の付着	確認をし、破損の場合は噴霧管の交換
	噴霧ホースの破損	噴霧ホースの交換が必要です。

水漏れがする (グリップ)	パッキンの破損・異物の付着	グリップの分解掃除、もしくは付属の「パッキン」をグリップ先端に取付する事で水漏れを防ぐ事ができます。 ⇒改善されない場合はグリップの交換が必要です。
グリップレバーの動きが悪い、 水が止まらない	レバー可動部の汚れや潤滑不足	グリップの分解掃除、もしくは市販の潤滑スプレーや潤滑油を塗布してみてください。 ⇒改善されない場合はグリップの交換が必要です。
水が出ない (電源は入る)	グリップ内部の 「詰まり (異物)」	一度グリップを外しホースから水が出た場合、グリップのつまりが原因と考えられますので、グリップを分解しフィルタを掃除して詰まりを除去してください。 ⇒改善されない場合はグリップの交換が必要です。
	ポンプやホース内部に 空気が溜まっている	タンクに水を満タンにし、グリップを外し 噴霧スイッチ入れて5分程放置します。 (水を吸上げる場合があります。)
	ポンプ内部の 「詰まり (異物による弁の固着)」	メーカー、購入店に問い合わせ
	噴霧ホース内部の 「詰まり (異物)」	グリップと本体からホースを取外し、 直接水道水をホース内に流し込みます。 異物が取れない場合はホースの交換が必要です。
モーターが止まらない	タンクの水 (液) が 空になったため	タンクが空になり水圧 (液圧) がなくなると、 モーターは作動し続けます。 モーターを停止させるには水 (液) を 補充するか、 噴霧スイッチ・噴霧調整ダイヤルを 「OFF」にしてください。
モーターから 不安定な音がする	モーターの異常	使用を中止しメーカー、購入店に問い合わせ
背中に熱を感じる	モーターの異常	使用を中止しメーカー、購入店に問い合わせ
バッテリー処分	バッテリーを処分したい場合は どうすればよいですか	お住まいの自治体の規則に従って処分 いただくか、 バッテリー回収業者等をご利用ください。

保証内容について

2025.10 現在

本規約は、ハイガー（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」とする）往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象（退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等）
- (11) 機能上影響のない感覚的な現象（音、振動、オイルのにじみ等）
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品（ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラジ、チェーン、バルブ内部の部品、パネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等）
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填（休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等）

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡ください。
またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。
症状・使用状況を伺い、手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- ・無在庫転売者（送り先が毎回違う購入者）の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

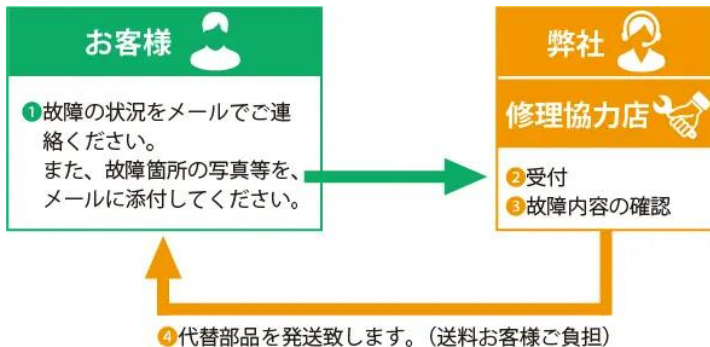
■アフターサービスについて■

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
3. 保証期間（1年間）を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

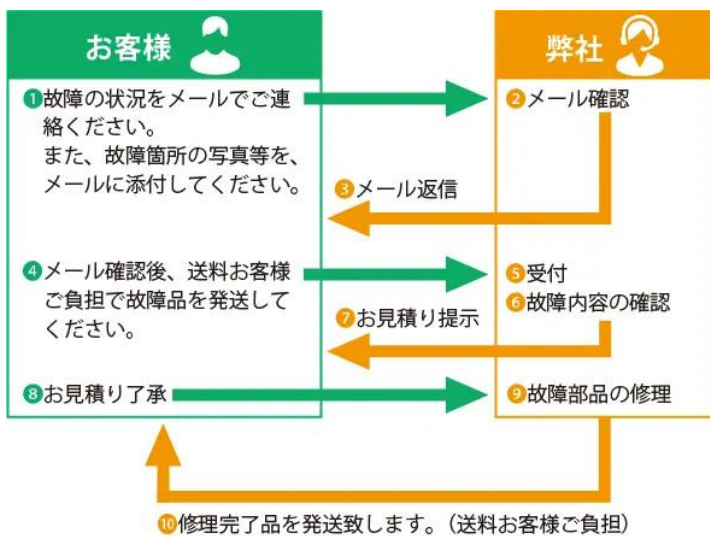
弊社にメールにてご連絡頂くかお近くの修理協力店にご連絡ください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。



故障部品を弊社で修理する場合

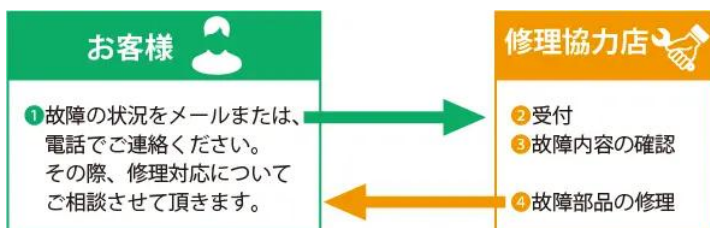
弊社にご連絡ください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

修理依頼されるときは、メールにて下記事項をご連絡ください。
・ご注文番号・商品名・商品の型番・故障の状況・購入サイト・購入年月日・お名前・ご住所・電話番号



故障部品を修理協力店で修理する場合

お近くの修理協力店にご連絡ください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。



■保証適用について■
まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。

保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的な破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく商品発送日より7日以内とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

■保証期間について■

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記事項をご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

修理やご相談は本社カスタマー・サポート・センターまでお願い致します。

受付は年中無休ですが、メールのご返信は平日のみとなります。
また、内容によってはお調べするのに数日要する場合があります。
ご了承ください。

本社カスタマー・サポート・センター→<https://haige.jp/c/>

修理協力店

修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト▶

<https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト▶

<https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト▶

<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

カスタマー・サポート

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。
「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。

カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口▶

<https://haige.jp/c/>

